

## ◆今期間のポイント

## ＜主要しょう乱の概要＞

- 期間を通して太平洋高気圧が日本の南に張り出す。
- 29日は、高気圧が日本の東へ移動し、低気圧が日本海へ進む。
- 30日は、低気圧がサハリン付近へ進み、前線が北日本付近へのびる。
- 31日から9月1日は、高気圧がオホーツク海から千島近海へ移動し、低気圧が日本海からサハリン付近へ進む。
- 2日は、低気圧がオホーツク海へ進み、前線が北日本から日本海へのびる。

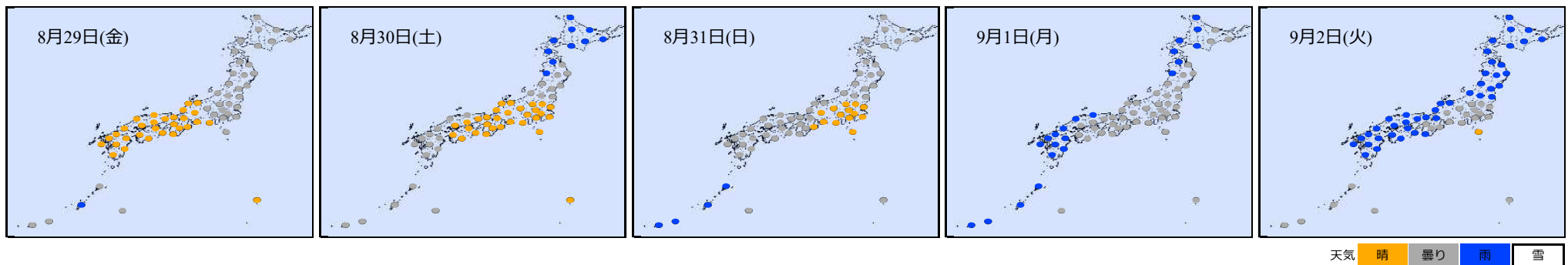
## ＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 東日本から西日本にかけては気温が高くなり、最高気温が35度以上となる所がある。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

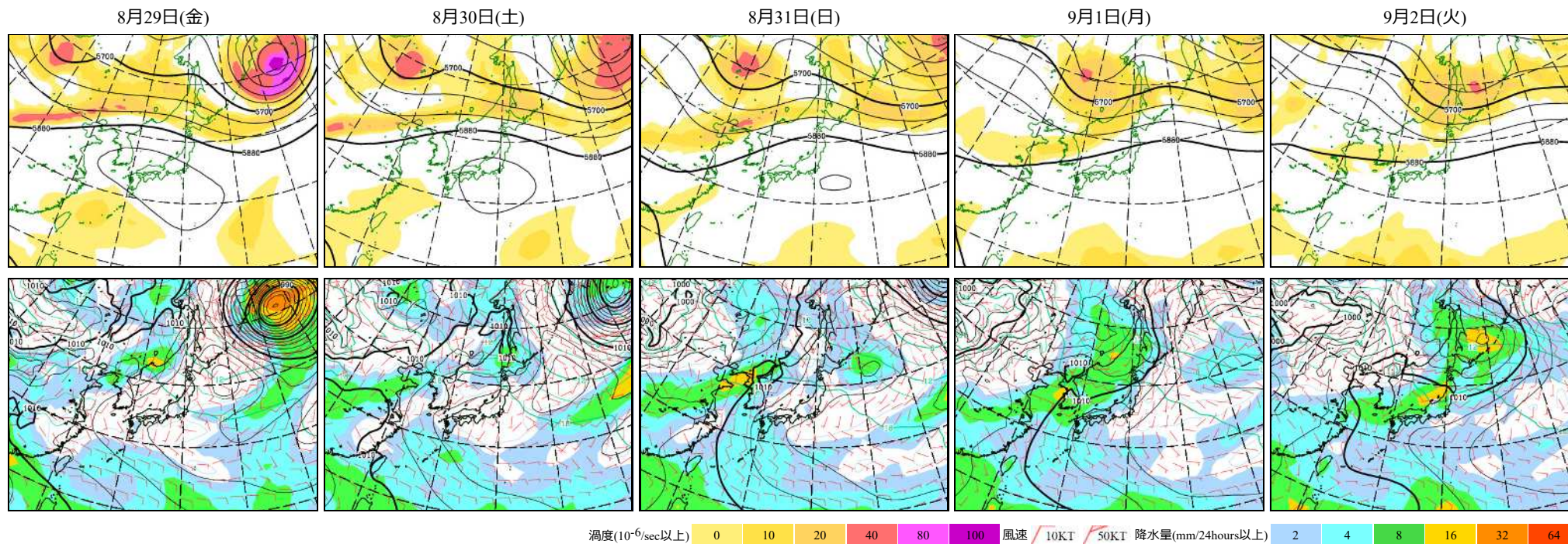
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

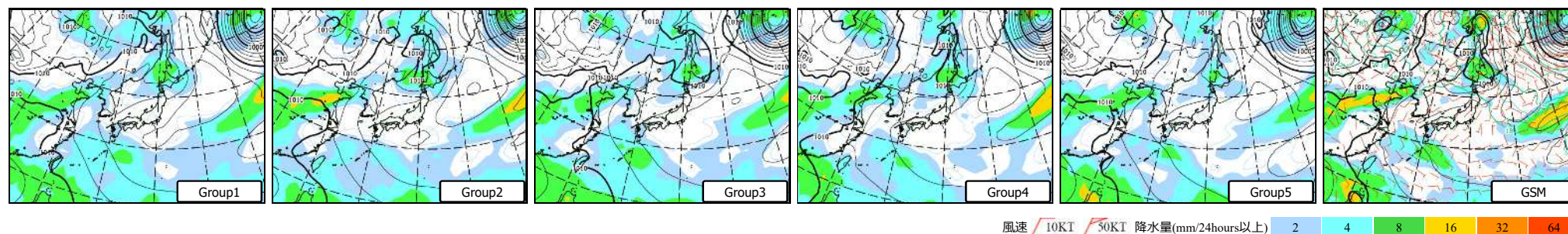


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 東日本は、晴れまたは曇りの日が多いが、9月2日は雨の降る所がある。
- 西日本は、曇りまたは晴れの日が多いが、9月1日と2日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、雨の降る日がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆8月30日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、9月2日に北日本付近へ進むトラフが深くなり、オホーツク海へ進む低気圧が明瞭となった。東・西日本付近のサブハイは、期間を通してやや強まり、期間の後半は大陸への張り出しが強まった。
- 30日に北日本付近へ進む低気圧は、各モデルのタイミングは揃ってきたが、GSMは海外モデルより北寄りの予想。また、1日頃にサハリン付近へ進む低気圧の予想は、各モデルともおおむね揃っている。
- プレッドは期間を通して小さいが、期間の終わりは5700mの特定高度線がばらつき、北日本付近へ進むトラフの位置や深まりについては不確実性がある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。